

❁ 議会だより

第38号

木津川市議会



元気いっぱいみんなで「エイサー」 (南加茂台保育園)

改革は続行
初の政策提言
2カ所の土地取得
梅美台保育園民営化等
市政を問う
ごみピット掘削が完了
市民の声

本会議……………2～4
決算……………6・7
補正予算……………8
常任委員会……………9～11
一般質問……………13～21
クリーンセンター……………22
わたしの意見……………24

お越しください
市民と議会のつどい

11月13日(日)

10:00～12:00 市役所北別館
13:30～15:30 加茂文化センター
13:30～15:30 アスピアやましろ

改善 改革は続行

9月定例会は、8月31日から9月30日まで、31日間の会期で開催した。

議案11件・同意19件・諮問6件・認定11件・議員提案4件を審議し、認定・

同意・可決した。

一般会計決算

使って市民生活を支えよ。上充用で補填した。

森岡 譲

27年度決算の収支は6億210万円の黒字。28年度に繰り越す2億1487万円を差し引いた実質収支は3億8723万円の黒字。

賛成討論

多くの施策が実施されまちづくりに推進されたことは、評価する。今後も健全財政を維持しながら魅力ある市になることを望む。

長岡 一夫

Q 基金増だが、減債対策に活用しては。

A 計画的に債務を返済する。基金は大きくは取り崩さない。

賛成多数で認定

(賛成17人・反対4人)

反対討論

消費増税、介護保険料の値上げ、高すぎる国保税で負担が増えた。一方、市の基金は発足以来最大規模。基金の一部を

国保会計決算

収入80億399万円、支出80億3125万円、2726万円の赤字。不足額を翌年度から繰

賛成討論

初めて赤字決算となったが被保険者に対し医療

宮嶋 良造

反対討論

赤字分を今年の収入で穴埋めした。今年度の収支に大きく影響する。国の負担を求め、一般会計から繰り入れよ。府一元化では解決しない。

ワード

繰上充用

会計年度が経過した後に歳入が不足するとき、翌年度の歳入でその不足分を補填すること。

Q 要支援1・2の利用割合が大きく減った。値上げ分は戻すべきでは。

A 利用が見込みほど伸びなかった。安定運営のため保険料は戻さない。

反対討論

保険料値上げは必要なかったことが明確になった。高齢者の生活は大変厳しい。事業計画を見直して保険料を元に戻し、引き下げるべき。

宮嶋 良造

賛成討論

地域包括ケアシステムの構築を図る一方、制度の重点化・効率化も必要。今後も住み慣れた場所が高齢者が安心して暮らせる事業運営を求める。

高岡 伸行

介護保険決算

賛成多数で認定

(賛成17人・反対3人・退席1人)

収入42億8261万円、支出42億3218万円、5043万円の黒字。

賛成多数で認定

(賛成16人・反対4人・退席1人)



財政力指数は少し

梅美台保育園の建物・備品を譲渡

29年4月から民設民営方式へ移行するため、社会福祉法人若竹福祉会に譲渡するもの。

Q 譲渡の時期は。

A 29年度当初に間に合うよう、手続きを進める。

Q 土地の売り払いの話はなかったのか。

A 保育園用と限定し、10年間の無償貸与であり、売買の話はない。

反対討論

公的保育を後退させる民営化には反対。公立保育所の運営・整備費の一般財源化を見直し、公立の統廃合・民営化ではなく国が財源を確保すべき。

宮嶋 良造

賛成討論

梅美台保育園の民設民営化は国庫負担金の支給対象となり、保育需要やニーズに柔軟に対応できる。よって良質な保育サービスの充実が図れる。

高岡 伸行

賛成多数で可決 (賛成17人・反対4人)

保育所条例の一部改正

梅美台保育園を民間事業者に移管し、梅美台保育園分園を木津保育園分園に変更するもの。

Q 民営化方針の中で、なぜ分園は直営とするのか。

A 待機児童を出さないことを大前提に取り組んでいる。

賛成多数で可決 (賛成17人・反対4人)

今回の議案は保育園運営の方向性を示し、民営化が推進されることを期待する。民間事業者の特色ある運営によってサービスの向上を期待する。

長岡 一夫

反対討論

国が進めた公立保育園への運営・整備費の一般財源化で公立保育園が大幅に減った。市も公立保育園の統廃合と民営化を行う計画であり、反対。

宮嶋 良造

Q 保育士の待遇改善も含め、民営化を進める必要がどこにあるのか。
A 改善は国でも進めようとしている。
民営化によりさまざまな保育ニーズに柔軟に対応できる。



民設民営方式に移行する梅美台保育園

特別会計等決算状況

万円未満の金額は切り捨て

特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	80億399万円	80億3125万円
後期高齢者医療	6億9270万円	6億8506万円
介護保険	42億8261万円	42億3218万円
公共下水道事業	20億5748万円	20億4273万円
簡易水道	2億7234万円	2億7003万円

4財産区	2342万円	2157万円
公営企業会計	収入額	支出額
水道事業	20億1357万円	21億3300万円
（収益的収支	17億1966万円	16億8548万円
資本的収支	2億9391万円	4億4752万円

一般会計 補正予算

28年度補正予算3号は、4億957万円を追加し、314億5221万円とする。

Q 庁舎改修工事費の予算の内容は。

A 非常電源装置本体は屋上にあるが、地下の燃料タンクから屋上に送るための電源装置を3階に移設するもの。

修正動議を提出

宮嶋・森岡より、新給食センター用地の購入予算を削除する修正案が出された。

Q 新給食センターは不要だと考えているのか。

A (提案議員) 食数不足の解消は必要だが、時間をかけて議論すべき問題である。

原案賛成討論

将来への先行投資を兼ねた城山台の用地取得、

新学校給食センターの土地購入も安価な予算案で、各種施策等に充実した取り組み姿勢がうかがえる。

尾崎 輝雄

修正案賛成討論

UR撤退に伴う土地購入は、「梅美台の土地ありき」の進め方で反対。

子どもたちにとって一番大切なのは何かを考慮し、時間をかけるべき。

西山幸千子

修正案賛成少数で否決

(賛成6人・反対15人)

賛成多数で可決

(賛成15人・反対6人)

市税条例改正

軽自動車税を種別割に改め、法人市民税の文言修正等をするもの。

Q 法人市民税の引き下げ分はどうなるのか。

A 国からの交付税原資となる。

反対討論

法人市民税率を下げ、

その差を国税化する。市の税収が減ることは明らか。外形標準課税導入も今後、市内中小企業への適用が懸念され、反対。

酒井 弘一

賛成多数で可決

(賛成17人・反対4人)

学研都市建設等市税特例改正

学研地区内において、固定資産税率を軽減することにより、企業誘致を促進するための条例。

Q 該当する「連結子会社」はあるのか。

A 市内に会社はない。

反対討論

学研開発で、国が固定資産税の不均一課税を先に決め、自治体に強制する手法は納得できない。

国は関係市町の財政援助こそすべきで、反対。

酒井 弘一

賛成討論

企業誘致は競争だ。学研都市にあぐらをかくことなく条例を整備すべきだ。10年間で約5億円の増収の試算もあり、地元雇用にもつながる。

高味 孝之

賛成多数で可決

(賛成17人・反対4人)

ワード

連結子会社

連結決算(親会社だけでなく、国内・海外子会社および関連会社を含めたグループ全体の決算方法)の対象となる子会社。



新しく進出した企業(木津南地区)

一般会計における主要財政分析指数

区分	27年度	26年度	数値の説明
財政力指数 (3力年平均)	0.652	0.645	指数が1に近いほど財源に余裕がある
経常収支比率	96.1%	96.6%	財政構造の弾力性を判断する指標
実質公債費比率 (3力年平均)	11.6%	12.0%	市の収入に対する実質的な借金の比率

27年度決算 監査報告(要約)

決算規模が市制施行後、最高となった。基金残高も最高額となったが、大型事業の進捗で市債も多額なため、今後も注視する必要がある。

滞納対策に取り組み、税外債権の整理が進んだことは評価でき、今後も対策を強化されたい。

意見書

京都府南部地域に
地方裁判所・家庭裁判
所支部設置を求める

提出者

総務文教常任委員会

京都府南部地域は約56万人と、府全体の約21%の人口だが、地裁、家裁の支部がない。この地域から京都市内にある本庁へのアクセスは、公共交通機関の便数が少なく不便。速やかに、南部地域に支部の設置を求める。

提出先

衆・参議院議長
内閣総理大臣他

全員賛成で可決

北陸新幹線を
府南部ルートに

提出者

尾崎 輝雄

賛成者

長岡 一夫



木津簡易裁判所に加えて南部地域に支部設置を

島野 均・森本 茂
谷川 光男・九社前聿朗
学研都市付近の駅設置
を求め「府南部ルート」
を求める。

査のための意見書である。
複線化と新幹線のどちら
も必要。

提出先

衆・参議院議長
内閣総理大臣他

反対討論

Q 京都ルートが一番高
く難しいと聞く。奈良線
複線化の方が必要では。
A (提出者) ルート調

今必要なのは地元住人
の移動の保障、駅の安全、
無理のない運賃、何より

奈良線の複線化であり、
借金を作る建設を安易に
求めることは反対。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成17人・反対4人)

次期介護保険制度
改正における福祉
用具、住宅改修の
見直しを求める

提出者

柴田はすみ

賛成者

尾崎 輝雄
長岡 一夫・九社前聿朗
森本 茂・谷川 光男

制度改正で自己負担が
増えれば弱者の切り捨て
になりかねない。介護の
重度化を防ぎ、生活を支
えるための検討を求める。

Q 「検討を行う」とは
何なのか、文言の修正は
できるのか。

A (提出者)

今までど

おりの介護給付を求める
ものだが、文言はこのま
まで提出したい。

提出先

衆・参議院議長
内閣総理大臣他

全員賛成で可決

日本政府に核兵器
全面禁止のための
決断と行動を求める

提出者

酒井 弘一

賛成者

炭本 範子
森本 茂・九社前聿朗

核兵器禁止条約の交渉
開始を求めることに加え、
北朝鮮の相次ぐ核兵器に
対して抗議をする。

Q 委員会に提出された
原案とは異なり、政党色
・政治色のない独自の意
見書だと思うが。

A (提出者)

そのとお

提出先

内閣総理大臣
総務大臣・外務大臣

反対討論

核兵器全面禁止条約は
核保有国の賛同が得られ
ない現状である。唯一の
被爆国として、核軍縮・
不拡散に積極的に取り組
む必要がある。反対。

山本 和延

賛成討論

「核兵器のない世界」
の動きが生まれ、核兵器
禁止・廃絶の条約につい
て議論がはじまった。
日本政府は被爆国にふ
さわしい役割を果たせ。

森岡 譲

賛成多数で可決

(賛成12人・反対8人・
欠席1人)

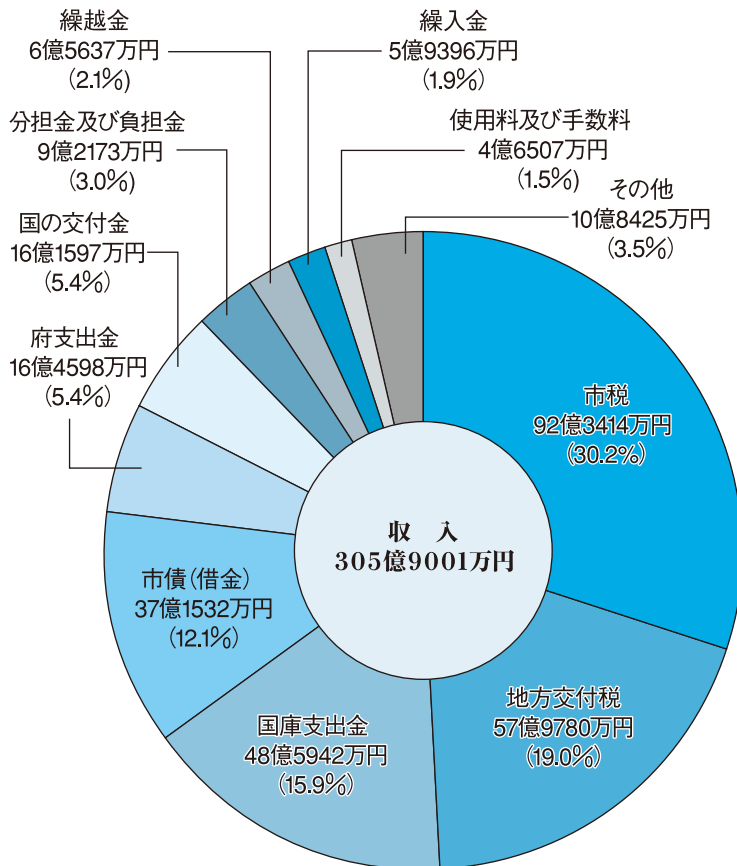
29年度予算に向け 初の政策提言

決算特別委員会

決算特別委員会（宮嶋良造委員長、島野均副委員長）は、議長と監査委員を除く20人で、9月23日、26日、27日、28日の4日間、27年度一般会計決算の審査を行った。

決算収支は6億210万円で、事業繰越金2億1487万円を引いた3億8723万円の黒字となった。

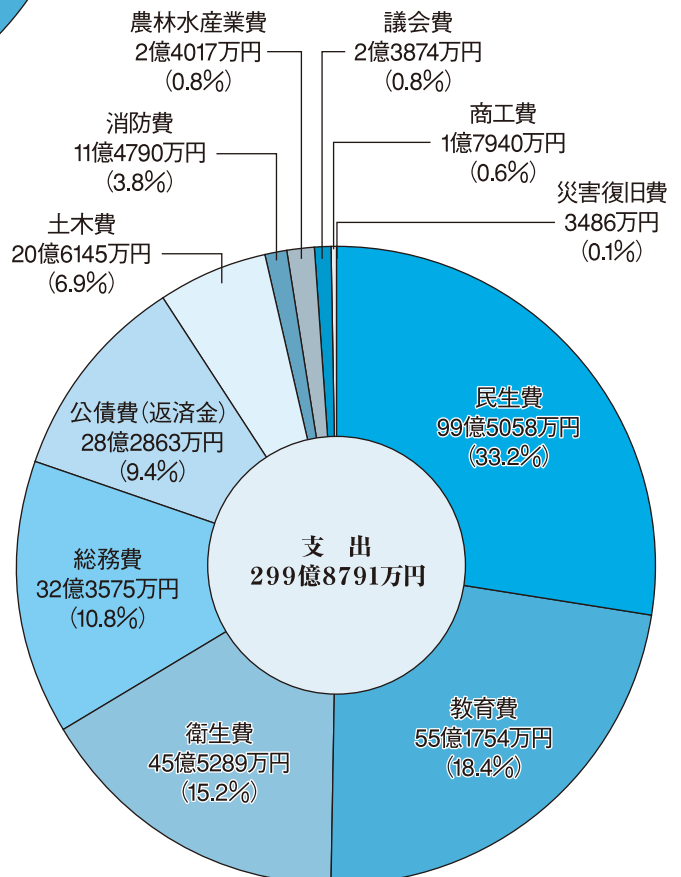
基金残高（貯金）は、119億7496万円で最も高額の地方債（借金）と債務負担行為の残高は43億1622万円（前年比30億4666万円減）となった。



主な事業の決算額 (27年度一般会計)

・コミュニティバス運行	5256万円
・子どもの医療費助成	2億9195万円
・市営墓地(思いでの丘霊園)	3808万円
・クリーンセンター整備	19億2951万円
・プレミアム商品券	3771万円
・城山台公園整備	1億4270万円
・棚倉小校舎改築(精算分)	6億5696万円
・恭仁小学校耐震補強(第1・第2工区)	2億365万円
・基金積み立て	10億1897万円

(万円未満の金額は切り捨て)



主な質疑

（市長室・総務部等）

行財政改革

Q 行財政改革の成果は何か。

A 税外債権プロジェクトチームの滞納対策の取り組みにより、収納率が向上した。

防災無線の改善は

Q 防災無線のスピーカーは聞きとりにくい。

A テスト放送では問題はなかった。原因を究明し、修正する。

（生活環境部・健康福祉部）

Q 病児・病後児保育の利用が少ないが

Q 登録者は多いのに、利用者が少ないのでは。

A 医師の休診日にも対応できるように、増員に努める。

市営共同浴場は赤字運営

Q 浴場の赤字対策は。入浴料の見直しを検討中。

（建設部・教育部等）

木津駅東西道路はいつに

Q アクセス道路建設が全く進んでいないのは。

A 地権者の同意が得られない。

狭い道路の安全対策は考える。

城址公園グラウンドは

Q 城址公園の夜間照明が使われていない。

グラウンドの水はけが悪いが、工事の再点検は。

A 照明の影響はないが地元理解を求める。水はけが落ち着くには3年ほど必要。

通学路の安全対策

Q 学校周辺のグリーンカラー舗装の効果は。

A 歩道のない小学校周辺の狭い道路8カ所に、舗装し安全対策に努めた。

賛成討論

長年の懸案事項のクリーンセンター建設や教育施設の耐震化の取り組みなど評価する。

反対討論

消費税8%で、市民の暮らしは大変。老人医療助成の後退や介護保険料の値上げで負担が増えた。

賛成多数で認定 （採決時2人欠席）

自由討議

政策提言

委員会の質疑終了後、予算編成の政策提言と、決算審査における付帯意見の議論を委員間で行った。

「29年度予算編成に向け、基金利子を活用した『市民公募型協働事業』を創設し、執行に取り組むこと」を全員一致で提言した。

付帯意見

「職員ができることまでコンサルタントに委託する事業が多々ある。職員の育成や行財政改革の見地からも、内容を検証し必要に応じて見直すこと」を27年度決算の付帯意見として賛成多数で決議した。



市長に政策提言を提出

URから2カ所の土地取得は 審査の結果付帯意見を付ける

補正予算特別委員会

9月9日に委員会を開会。一般会計予算を4億957万円増額し、314億5221万円とするもの。賛成多数で可決。

主な質疑

介護ロボット等導入支援事業

Q スマートウェルネスプロジェクト事業

Q 介護ロボットを導入することで、人員等の見直しはあるのか。

A 移動支援・見守り等

Q 地方創生推進交付金を活用し、医療・介護の現状を分析、医療費の予測や効果を解析する事業だが、単年度決算なのか。

A 介護職員の負担軽減にもなり、職場環境の改善、人材の確保につながる。

中央地区土地取得費

A 5カ年計画で、交付金を毎年申請する。

Q 交付金を利用した独自事業は考えられなかったのか。

A 今後、急速に高齢化が進むと予想され、昨年度から検討してきた。

Q 価格は1億4658万円、購入目的は何か。

A 木津駅東地区の今後の開発は、内水対策等の課題はあるが、将来的に有効利用をしたい。

Q 小川流域の改修費が必要。それを考慮しての不動産鑑定評価なのか。

A 流域の改修は管理者の府と協議する。

価格は、市が指定した不動産鑑定士によるもの。

新設学校給食センター建設事業費

木津・山城給食センターの老朽化に伴い、梅美台に1億6427万円で用地の購入をするもの。

Q 木津・山城給食センターの具体的な老朽化は。

A 木津センターは建設後28年が経過し、建物・調理器具の老朽化が進んでいる。山城センターは14年に開設されたが、調理器具はそれ以前の物を使用しており、老朽化が

進んでいる。

Q 候補地の選定理由は。山城地域では準工業地域はあるが、インフラ整備がされていない。

加茂地域の準工業地域では、必要な面積が確保できない。

反対討論

給食センターのこれまでの改善や、厨房機器の廃棄が無駄となる。

賛成討論

新設給食センターの土地購入は、市として大きな決断。

Q 7千食の給食を作るには狭くないか。
A 業者と検討した。一部2階建てで可能である。
Q 新設するのに総額は20億円程度と試算している。



新給食センター予定地
(梅美台八丁目)

補正予算に対する付帯意見

- 1 木津中央地区土地取得費の執行に当たっては、その目的が将来のまちづくりに活用することであることから、土地鑑定評価の価格時点を考慮し、適切な価格となるよう所有者と交渉を行うこと。
- 2 今後の市の給食センターのあり方については、十分検討し進められたい。

委員長
副委員長
委員

高岡 伸行
西岡 政治
森本 靖子
河口 前
九社 朗
森本 茂
尾崎 輝雄
森岡 譲
宮嶋 良造
島野 均
高味 孝之

学研都市に 立地の子会社を 適用対象に

総務文教委員会

9月2日に委員会を開会し、認定4件、議案4件、報告4件を審査した。

全議案認定・可決

給食センターの今後

報告事項として、URからの土地取得（梅美台）、新給食センター建設の場所選定・費用・現センターのあり方の説明を受けた。

また、市民への情報提供としてコミュニティFM局との連携、「逃げ時マップ」等を配布。

自助・共助の取り組みとして、自主防災組織リーダーを養成し、強化を図っている。

早期復帰ができるよう運営している。

2市の取り組みを今後参考にしていきたい。

研修報告

市民と一体の防災対策

8月18日、愛知県岡崎市の「防災対策」の研修を行った。

防災対策3つの柱

◇風水害対策

◇地震災害対策

◇自助・共助の強化

風水害対策は、20年8月の豪雨を教訓とし、市民への情報の伝達と啓発を強化した。

情報伝達として、気象観測システムの整備、浸水計・河川水位計等と連携した警報装置を整備。

児童生徒の未来のために

8月19日、静岡県湖西市の「不登校児童等の対策といじめ対策」の研修を行った。

不登校児童対策協議会を設置。

新たな不登校児童を出さないことが理念。

教員（支援員）やスクールカウンセラーと連携し、緊急時は県のスクールソーシャルワーカーが加わり対応する。

チャレンジ教室は、市内の施設で1日5時間。

自習学習・運動・レクリエーション等を取り入れ、参加することで出席扱いとなる。

地方税法の改正に伴う 市税条例の改正

反対討論

軽自動車税の名称変更や個々の減税は昨年度の大幅な税額の引き上げがベースにあり反対。

賛成多数で可決

学研都市推進法改正によるもの

Q 企業誘致を有利にするための条例改正で、立

反対討論

地する連結子会社も対象とする税改正では。
A 子会社も適用対象にするため。

賛成討論

企業誘致が有利になるため改正は必要。

賛成多数で可決



市内全体の地震発生時のシミュレーションを表示（愛知県岡崎市防災展示コーナー）

公設民営の 梅美台保育園を 完全民営化

厚生委員会

9月5日に委員会を開会し、認定3件、議案4件を審査した。

全議案認定・可決

梅美台保育園の完全民営化に伴い、分園は木津保育園が運営

Q 民営化によって、保育士確保や待遇改善などの保障はできるのか。
A 国も改善を図っている。府の定期監査などもある。

Q 分園を直営にすることになった経緯は。

A 法人から「定員に満たず、運営が厳しい」との申し出があった。市が責任を持って待機児童対策をするため。

反対討論

基準がさまざまな保育サービスからの公的保育の後退は心配が多い。

賛成多数で可決

梅美台保育園の民営化に向け、建物を無償譲渡

Q 建物は無償譲渡、土地は「10年間」無償貸与としているが。
A 10年後は再協議し、更新していく。



市の運営となる梅美台分園

反対討論

公と民で切磋琢磨して保育の質を向上させるべきであり、反対。

賛成多数で可決

27年度国保決算

Q 27年度決算を通じて、今後の見通しをどう考えるのか。
A 初めての赤字決算。

税収や国・府からの財政支援など、財源確保が重要。

Q 加入者は増えているが3年連続減収。保険給付が伸びた原因は。

A 高額な新薬やインフルエンザなどの流行も要因。今後も、医療費の増加傾向は続く。

反対討論

繰り返しの値上げと国庫負担の減。広域化も改善につながらず反対。

賛成多数で認定

27年度介護保険決算

Q 介護施設が少ない。府の福祉のまちづくり条例が厳しいのでは。
A 参入はある。今後も利用者は増える。

Q 保険料の値上げを上回っての黒字の理由は。

A 介護認定者も増加したが、第1号被保険者が増え収入増となった。

Q 軽度者の利用が減っている。利用料が払えないのでは。

A 要支援1の利用者は住宅改修が多かった。結果として減少した。

反対討論

高齢者の苦しい生活を支えるためにも保険料を引き下げよ。

賛成多数で認定

所得税法の一部改正に伴う国保税の改正

Q 「外国人等」の軽減判定につながるようだが、市で該当者はいるのか。
A 今のところ、該当者がなく、影響はない。

全員賛成で可決

内水対策強化へ 排水ポンプ車等 購入

産業建設委員会

9月6日に委員会を開会し、認定3件、議案2件、報告案件2件を審査した。

全議案認定・可決

下水道決算

Q 今回は1672万円を不納欠損処理したが、未処理金はまだあるのか。
A 19年度から22年度分の未処理金がある。

Q 水洗化の普及率向上の対策をどう考えているのか。
A 現在の助成金に上乗せして水洗化率100%を目指しては。

A 水洗化工事の助成金制度は1年以内の接続で2万円、3年以内で1万円。助成制度の上乗せは難しい。

Q 流域下水道維持管理事業費が前年度より増額となった理由は。
A 排水予定水量で府と覚書を交わしており、それに基づいて支払っている。

Q 職員の給与が、前年度より増えているのは。
A 26年度は、職員8人で計上、27年度は、再任用職員の1人分増である。

全員賛成で可決

簡易水道決算

Q ①検針委託料約58万円の中身は。

ワード

不納欠損

死亡等により徴収が行えず、今後も見込みがたたないため、その徴収を諦めること。

全員賛成で可決

②企業会計に対応した総合管理計画策定業務委託料は27年度で終わるのか。今後の進捗状況は。
A ①27年度は1年で8038件、1件あたり72円で3人に個人委託している。
②26年度まで固定資産台帳のサンプルはできている。27・28年度の決算データを追加し、固定資産台帳が仕上がる。

排水ポンプ車及び ポンプユニットの 買い入れ

Q 排水ポンプ車とポンプユニットの耐用年数と維持費は。
A ポンプは点検をする中で30年を見込んでいる。積載車は通常の車検、点検を踏まえ、10～15年程度見込んでいる。特殊車両の扱いとなり、毎年の車検等の経費が必要となる。

Q 排水ポンプ車は貝鍋川樋門（加茂）や山城地域でも機能を発揮できるのか。
A 4輪駆動車であり、対応可能である。

全員賛成で可決

市営住宅入居者選考 委員会条例及び市営 住宅管理審議会条例 の一部改正

Q 組織の変更があったが、市営住宅担当職員は何人か。

A 事務2人、営繕担当1人、管理職1人の4人である。

全員賛成で可決



念願の赤田川樋門がよいよ完成に近づく（加茂地域）

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載

賛成=○ 反対=× 退席=△ 欠席=欠 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名（第3回定例会）										
		平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定	平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	税条例等の一部改正	関西文化学術研究都市建設等に係る木津川市税条例の特例に関する条例の一部改正	保育所条例の一部改正	平成28年度一般会計補正予算第3号	平成28年度一般会計補正予算第3号に対する修正動議	財産の無償譲渡	北陸新幹線京都府南部ルートに関する意見書	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
森本 隆	さくら	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
河口 靖子	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
炭本 範子	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠
西岡 政治	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
高味 孝之	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
西山幸千子	共 産	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
森岡 譲	共 産	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
宮嶋 良造	共 産	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
酒井 弘一	共 産	×	△	△	×	×	×	×	○	×	×	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
島野 均	公 明	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
森本 茂	自 民	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
片岡 廣	自 民	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
九社前聿朗	無会派	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
谷川 光男	無会派	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
倉 克伊	議 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
採決結果		認定	認定	認定	可決	可決	可決	可決	否決	可決	可決	可決

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団
公明=公明党 自民=木津川市自民党議員団 無会派=会派に属さない議員

一般質問

17人が質問を行う



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

インターネットで市議会の
生中継や録画配信が
ご覧いただけます。

木津川市議会

検索



社会福祉施設規制は今後も必要か

柔軟に話を聞き府と協議をする

Q 団塊の世代が75歳以上の高齢者となる。市の2025年への対応を問う。

①木津西圏域の高齢化率が上昇する。

介護を必要とする者の実態調査を行うべきでは。
②2025年における社会福祉施設は、現在の設置数で足りるのか。

③「研究開発地区建築条例」での社会福祉施設規制は高齢化が進む中、柔軟に対応すべきでは。

A 健康福祉部・建設部

①今後、地域の実情を考慮し調査を考えたい。
②今後、圏域単位で身近な施設、取り組みを把握し、しっかり計画したい。
③柔軟に話を聞きながら



民主未来クラブ

西岡 政治

府と協議を進める。

思い切った経費削減を

Q 水道事業経営改善計画と静岡県三島市への管外研修を踏まえ、新しい経営改善計画（5カ年計画）の考え方と内容をたずねる。

①1部1課制の導入、収納業務の民間委託等、思い切った経費削減対策を。
②計画期間中の水道料金改定を行うのか。

A 上下水道部①検針隔月化・窓口業務等の民間委託により、人件費・経費の削減を行う。
②料金見直しは行わない。



高齢者が集う社協兜台区支部のミニサロン

JR木津駅北高架下を東西道路に

駅東地区の整備方針にて検討する

- Q** ①城山台地域からJRの線路を越えて西側に抜けるため、JR3線の高架下を通り東西を結ぶ道路となるよう、上津川・小川の一部をルート変更して早期対応を。
- ②天神山線が未完成であっても、東中央線が30年中に供用開始となった場合、各所で車の渋滞が予想されるが対策は。
- ③商業施設へのスーパ一等の誘致の状況は。
- A** 建設部・マチオモイ
- ①木津駅東地区の整備方針に合わせて、検討する。
- ②府が案内看板等で誘導。
- ③URによると有力な引き合いがある。

命と財産を守る消防団



自民党議員団

森本 茂

- Q** ①消防団詰所35カ所の耐震調査の実施は。
- ②消防団員OBを機能別団員として多く採用を。
- A** 総務部①29年度に実施する。
- ②消防団の意見を聞き、今後取り組む。

地元と協議する覚書を

- Q** 2度目の設置となる嫌悪施設のゴミ処理場の「負担の不公平」を和らげる覚書を。

- A** 副市長 監視委員会を設置して、定期的に協議することを提案している。

他に婚活支援を、市制10周年に向けてを質問



早期に幹線道路としての整備を（JR木津駅北高架下）

木津川市ふるさと応援基金

木津川市ふるさと納税

ふるさと納税とは

「ふるさと納税」は、ふるさとを応援する制度で、新たに税を納めるものではなく、寄附金のことです。

例えば木津川市に納税を希望する場合は、その一部が個人負担（所得税・住民税）から控除される制度で、結果としてふるさとに納税したのと同等の効果が生まれることにあります。

個人が2000円を超える寄附を行ったときに、住民税と所得税から20%の控除を受けることができます。

※この制度を利用するためには、ふるさと納税の申し込みが必要です。

ふるさと納税制度のさらなる充実を

合併特例延長で新市基本計画へ

財源見込変更と執行目標公表

- Q** ①未利用・低利用の市有財産を生かす活用・売却等の考えは。
- ②環境の森施設の管理運営体制は。
- ③コンサル業務・物品等の適正な入札受注後のチェック体制の取り組みは。
- ④新給食センターについて、教育長の取り組み姿勢は。

- A** 総務部・市民部・建設部他①利活用基本方針に基づき、活用管理に努め売り払いを進める。
- ②建設状況や稼働時期を勘案し整理をする。
- ③各過程において、適正な入札の執行に努め発注後の検収を適正に行う。
- ④給食は健全な心身を培い豊かな人間性を育む重い

応援基金の活用を

- Q** ①ふるさと納税基金の寄附状況は。
- ②寄附金の活用は。
- ③記念品は何種類あるのか。今後増品は考えて



自民党議員団

片岡 廣

- いるのか。
- A** 総務部①記念品の贈呈を開始した26年度より件数および金額は増加傾向にある。
- ②26年から27年にかけて大仏鉄道遺構の案内看板を設置。今年度は消防組合に救急車の財源として200万円を支出予定。
- ③現時点は30品であるが10月より60品を選定。

Q ①30年度実施に向け、変更点は。
②ジェネリック医薬品差額通知事業の効果は。
③特定健診等の受診率アップの施策は。

A 市民部①これまでと同様に、保険給付、保険料率の決定と賦課・徴収、保健事業を行う。保険料率は来年の10月に努める。

②27年度は約2530万円の医療費削減効果。28年度は約3700万円を見込む。

③データヘルス計画を策定。性別、年代別、過去の受診結果の内容等を分類し、受診勧奨の通知を実施して、未受診者対策に努める。

市独自の保健事業に取り組む

国保広域化への対応は万全か



介護負担軽減に期待できるアシストスーツ

Q ①全体の更新費用の見通しと対策は。
②公共施設の耐震化は。

A 総務部・建設部①今後40年間で約2400億円、一年あたりの平均額が約60億円。現状の1・7倍となり大きな財政負担が予想される。長

公共施設等の更新は



さくら会
谷口 雄一

寿命化・集約化および統廃合に向けて計画的な管理を行う。
②89%が新耐震基準ならびに耐震改修済み。避難所としての役割を担っており、効率的かつ計画的な耐震化を進める。

地域包括ケアシステムの今後は 新たな総合事業の利用で対応

Q 介護事業課題の対応策について提案する。
①介護離職ゼロに向けて、介護ロボットをもっと推進できないか。
②木津西園域（兜台・相楽台他）はこの5年で後期高齢者が1・5倍になる。圏域の見直しが必要と思うが。
③介護ボランティア確保

のために、ポイント制度（八幡市）、時間預託制度（ニッポン・アクティブライフ・クラブで運用）を採用してはどうか。

A 健康福祉部他①国の補助金を活用して導入し、介護現場の負担軽減を図る。
②現在の包括支援センターを圏域で対応していく。

Q ①スマートシティの取り組みを市民に還元できないか。
②予防事業「健康クラウドシステム」を積極的に

③今後の体制づくりの参考にする。



さくら会
森本 隆

進めるために、セミナーの開催が必要では。
A 市長・健康福祉部他①健康キャラバン等で還元していく。
②各種団体と連携して進めることを考える。

退職準備セミナー開催を

木津川市の公共施設はどれだけあるの？

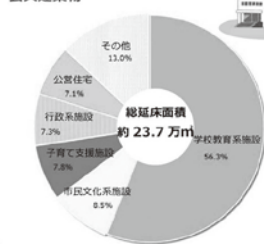


木津川市マスコットキャラクター
いづみ姫

阪神甲子園球場の
6個分！

※公共施設には公共建築物とインフラ施設があります。
※木津川市の公共建築物は約4割が築30年以上を経過しており、今後、大規模改修や建替えが必要になることが予想されます。
※インフラ施設の耐用年数は一般に、道路舗装：15年、橋りょう：60年、上水道：40年、下水道：50年とされています。
※公共建築物の総延床面積は約237,000㎡あり、これは阪神甲子園球場の延床面積の6個分にあたります。

公共建築物



インフラ施設

・道路（約523km）
・橋りょう（約2.6万㎡・351本）
・上水道（約500km）
・下水道（約451km）

木津川市から東京までの距離 約500km

公共施設はわたしたちの生活を豊かにする大切な財産

生活道路の改善はいつできるのか

要望に基づきその都度修繕整備

抄状況は。

Q 南加茂台地区内道路のひび割れ箇所や、白線等交通標示の不鮮明な箇所および、修繕整備の計画見通しは。

A **建設部** 当交差点の設計業務を発注した。

Q 加茂町岡崎の変則交差点の改良工事の進

公共施設の今後は

A **建設部** 今年度予算が300万円程度、要望いただいた中で、現

Q 老朽化が進む公共施設の更新と健全財政

地を確認後施工。

の両立は。

A **総務部** 長期的な視点で、更新・統廃合

Q 地域における主治医の高齢化に伴い、休

診を余儀なくされている

地域における福祉施策は

・長寿命化等の計画的な管理を行い、財政負担の軽減・平準化を図り、公共施設等の最適な配置を目指す。



民主未来クラブ
河口 靖子

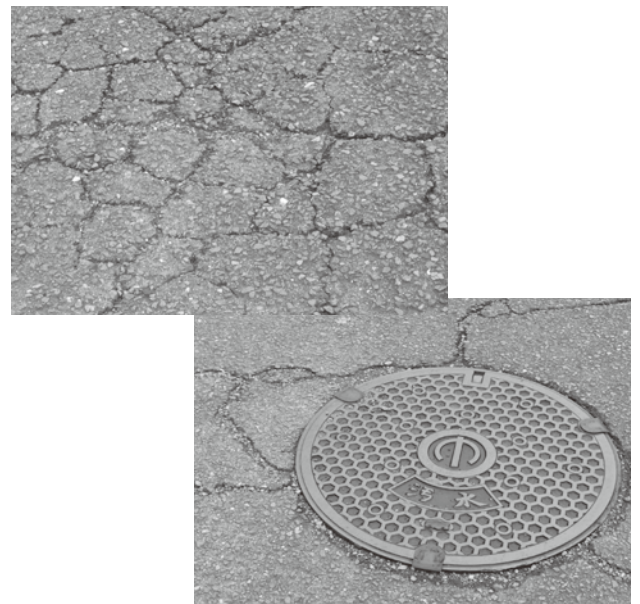
現状から、今後の診療体制をどう考えていくのか。

A **市長** 医師会にも相談できたと思う。

Q 地域包括支援センターが介護予防サポートを指導できるのか。

A **健康福祉部** 職員ともども、活動を進める。

次期以降の養成講座に専門職の導入を検討する。



下水マンホールからたこ足亀裂

市庁舎に広告入り総合案内板を

電飾看板を1階に設置予定

Q 市庁舎玄関に電飾看板(自治体情報案内

図等)を設置して市民に分かりやすく見やすい情報を提供しては。

A **総務部** 来庁者に分かりやすい案内表示板の導入に向け、検討している。

藍咲学園前に信号機を

Q 来年4月開園する藍咲学園(認定こども

園)前の府道四ツ池通りの安心安全のため、横断歩道、信号機設置を。

A **総務部** 地元からも要望が出ている。

信号機の設置は府公安委員会の窓口である木津



公明党
島野 均

警察署を通し要望する。

現時点では、公安委員会が定めている交通量に達していないため、設置はできない。引き続き要望活動を継続する。

貧困の連鎖を切ろう

Q 生活保護世帯、生活困窮者の児童生徒を

対象に学習支援を。貧困による経済格差で子どもが影響を受け学力不足にある。行政、教育の力で支援を。

A **教育部** 就学援助はしている。学習支援では、補充学習している。中学校では、入試対策、進路指導、学習支援は、NPO法人で個別対応している。



このような電飾看板の設置を(京田辺市役所)

市民の暮らしと営業を支えよ

生活支援、地域活性に取り組んだ

Q ①市民の暮らしと営業は深刻。税金はくらし・社会保障・子育て優先に。

②基金活用で、地域経済を活発にし、市民や職員の提案制度をつくれ。

A 総務部①生活弱者への支援、商品券発行で消費を喚起。

②基金残高は、最大規模

だが、限られた財源、創意・工夫で有効に活用。介護保険料を引き下げよ

Q ①利用料2倍など、制度改悪計画をやめさせよ。

②介護保険会計決算からも保険料は下げられる。

有権者本位の選挙事務を

Q ①臨時職員を原則禁止の短期派遣で行ったのか。

②新聞未購読者への選挙

A 健康福祉部①市長会から国へ要望。②今期の保険料引き下げは考えていない。



日本共産党

宮嶋 良造

公報の郵送を徹底せよ。
③ポスター掲示板は人目につきやすいところに。
④バリアフリーの投票所に変更を。

A 総務部①派遣職員の活用で安定した人員が確保できる。
②市広報、投票入場券等で案内、周知徹底する。
③必要に応じて適切な場所に設置する。
④投票所は変更しない。投票しやすい環境を整備。



駐車場から車いすで行けない投票所



維持管理費が高つく東中央線（州見台）

公共施設管理やインフラは

道路・河川・公園等管理に最善を

Q ①インターロッキング歩道は管理費が高いが、その対策は。

東中央線における市の管理費は。

②河川の草刈りやしゅんせつ作業を行う基準は。発注見直しを行い、経費削減を。
③公園管理の実施主体の発注基準は。遊具の使用

状況や老朽化等を考え、見直しを実施すべきでは。
A 建設部 ①部分的修繕を実施。

東中央線の維持管理費は年約1億3千万円。
②河川除草は施工済み、市で適宜、しゅんせつ作業を実施。
③規模の大きい公園は緑化協会に委託。修繕によ



さくら会

尾崎 輝雄

り使用できる遊具は残す。今後は地域要望も配慮する。

耕作放棄地の対策は

Q 農地中間管理機構への登録申請は。

A マチオモイ 申請はなし。その要因等は機構に10年貸し付ける条

件となっているため。

空き家の実態と対策は

Q 市内に468件の空き家があるが。

A 政策監・市民部 468件の内、67件は空家対策特措法をもとに適正指導を行う。空家バンクを創設し活用する。

耕作放棄地の解消はより進むか

中間管理機構を活用する

Q ①耕作放棄地の面積は。②中間管理機構へ希望する農地はあるか。

③当尾地域では、地域力創造プランとリンクし市民農園に利用しては。

④新農業委員の過半数は、原則認定農業者でなければならぬ。なぜ5人か。

A マチオモイ①26年度、44・1ha。②意向調査の対象者は470人で823筆。その内、283筆で13・7ha。③全体を見ながら考える。④特例措置を適用した。

子ども・子育て実施計画

Q ①待機児童の見通しは。②幼児期の教育は必要だ。③孤立する母



民主未来クラブ
炭本 範子

親がある。家庭全戸訪問を増やしては。

A 健康福祉部①31年に、保育見込み量として2490人を確保できる。

②認定こども園の開設により体制整備を図る。民間や公立の認定こども園化を検討する。③必要ならば検討する。

統一された料金設定を

Q 公共施設の利用料金の統一はいつか。

ホールは区切り使用や1時間単位で利用しやすいと考えては。

A 教育部 社会教育委員会では協議検討し、早期に統一を図る。



来年4月開園予定の認定こども園（木津川台）

小中学校生徒の英語力の目標は

中学卒業時に3級合格者50%以上

Q ①小学校に英語を導入した。「聞く」、「話す」が国際化の中で

は対応できるのか。②市主催の英語コンテストを毎年実施し、相楽全

体でもしては。③ALT全員の協力をお願いして審査員を。

A 教育部①各国からゲストを招いて交流や

授業を実施。

②各中学校の校内で実施。③予定はない。

子育て世代の将来不安は

Q 臨時職員の最低賃金は840円である。

国連から勧告、最低生存水準を下回っている。これが不安の主な要因であ

り、見直しを。

A 市長室 府の最低賃金、近隣市町村の状況等を注視し対応する。

Q 待機児童の解消は。

A 健康福祉部 4月1日はゼロだが、現在は待機が出ている状況である。次年度には、認定



会派に属さない
九社前 隼朗

こども園が開園予定であり解消となる。

学校施設を問う

Q エアコン設置の請願は3度議会で採択されているが。

A 教育部 現在、エアコン設置の具体的な計画はない。



ALTの協力を得て英語力の強化を

どうするどうなる国民健康保険

財政支援を求める

Q 基金はゼロ、当初予算から繰上げ充用をしなければ運用ができない現状だ。今後の対策は。

A 市民部 一般会計から財政的な支援を検討する。

Q 30年度の広域化に向け、標準保険税の算定時に人間ドック事業を入れるべきでは。

UR撤退と土地購入は

A 市長 府や国に訴えていく。

Q 城山台9丁目1番地は原野のままで、URが開発を見送った土地で、内水対策もできていない。1億5千万円は妥当か。

A 建設部 府と協議中である。

A 建設部 不動産鑑定評価に基づく。水害防止のため、民間に売却する前に取得する。



民主未来クラブ
高味 孝之

Q 「教育委員会は、住民の意向の反映や意見を踏まえ、重要事項や基本方針を決定する」とあるが、新給食センター建設の協議は十分されたのか。

A 教育部 場所・費用・面積も含め説明をした。

Q 委員会の意見書をどう捉えているのか。
A 市長 城山台の土地はURと価格交渉をしたい。教育委員の意見を聞き検討。(P8参照)



URが開発を断念した土地（城山台）



オープンした京大農場

京大農場と共存共栄を

各事業と連携を取り組む

Q 京大農場の移転にあたり、学長から世界の農業の発展に寄与する施設に、地元野菜を提携し、子どものための体験学習を開く施設になってほしいと話があった。
① 小学校の教育としての取り組みは。
② 木津川ブランドの開発をどのようにお願いする

A 政策監・教育部・マチオモイ ① 8月に城山台小学校教師が京大農場を訪問した。農場が本格的な稼働をしていく中で各学校と具体的な協議を進めたい。
② 農業従事者や市や京大と構築を図り、交流事業を通じて戦略を練り上げたい。
③ 農業関連や異業種交流も含め連携をし、企業誘



さくら会
伊藤 紀味枝

Q 接道はどのように進めるのか。
A 建設部 歩道橋の撤去と交差点の拡幅と歩道整備をする。

致活動が続ける。
④ ブランディングによる販路拡大や飲食店の利用による地産地消推進に取り組む。

木津奈良道交差点改良は

Q 接道はどのように進めるのか。
A 建設部 歩道橋の撤去と交差点の拡幅と歩道整備をする。

安心・快適な加茂駅に

JRに安全性確保などを要望した

Q 加茂駅は7月1日から駅員が完全一人体制になり、無人時間が1日に6時間以上ある。市はこの状態をどう考えるのか。

A マチオモイ 利用者の利便性・安全性が確保できるよう申し入れた。しかし今の利用人数では駅員の増員はできない。

職員体制の充実を

Q ①職員の男女比や年齢構成はどうか。
②再任用が増えれば新規採用が減少しないか。計画的な職員採用を。

いとの回答だった。引き続き要望していく。



日本共産党 酒井 弘一

A 市長室①年齢構成は20代が98人、30代が86人、40代が165人、50代が147人。
②再任用が増えれば新規採用は減る。年齢のバランスを取るよう努力する。

Q 市は、くらしの資金100万円の貸し付けを社協に委託しているが、目的、効果は何か。直営化も含め見直しを。

A 健康福祉部 返済金は、54万円から227万円ほどで毎年違う。事務費はここ数年は18万円ほど。社協に委託することで社協の他の制度との一体運営、的確なサービスを提供できる。

くらしの資金貸し付け



加茂プールの代わりに開放された加茂小プール

高齢者も楽しめるプール料金に

社会教育委員会で検討する

Q ①今年初めて、加茂小学校のプールを開放し喜ばれている。木津地域も日数を増やしてはどうか。
②高齢者も健康維持のため、水中ウォーキングができるようにしては。
③山城プールのロッカー使用料の見直しを。

A 教育部①木津地域は来年も4小学校で4日間とする。
②設備がある山城プールを利用してほしい。
③改修が必要で難しい。

山城センターを見習え

Q 給食の食べ残しが多いと、栄養価が不足



日本共産党 西山幸千子

A 教育部①1学期の食べ残しは木津が10.7%、加茂が13.3%、山城が6%。課題を整理し、取り組んでいきたい。

平和交流を通じ次世代へ

Q ①戦争体験を直接聞く機会が減っている。今後の取り組みは。
②「非核・平和都市」宣言が市のホームページにないが。

A 市長室・マチオモイ①市も参加する「平和首長会議」で、被爆の事実を広く引き継ぐ等が、採択されている。

②宣言しているが、載せていない。



加茂駅の駅員一人化を予告する掲示（6月末）

Q 市内には準用河川を含め95の河川がある。どの河川も土砂の堆積で草等が茂り、景観も悪く水害を起こす原因にもなるが、次の点を聞く。

①準用河川の管理は。②年に何回除草しているのか。③堆積した土砂等のしゅんせつは。

Q 今後観光誘致をどう進めるのか、次の点を聞く。

観光客誘致を旺盛に

A 建設部①市が管理。②改修された大きな4河川は年1回から2回③河川状況で適宜しゅんせつしている。

制約はあるがしっかり取り組む

河川はいつもきれいに



オリジナルの婚姻届を（東広島市）

罹災証明の早期発行を目指せ

被災者支援システムを作成中

Q ①災害時でも役所が機能できる業務継続計画を作成しているか。②食糧確保は。またアレルギー対応食はあるのか。③携帯電話等使えなくなったときの通信手段は。④罹災証明の早期発行には、被災者支援システムは大変有効だが、状況は。⑤避難所となる公共施設

A ①総務部①現在作成中。②約4万食。準備はないが、分かるよう表示。③NTTと協力して避難所に無線の回線を引く。④府のシステムを利用して、使用方法の訓練を進める。



日本共産党 森岡 譲

①旅行者との連携は。②市と観光協会は、ツアー客の募集を考えているのか。③観光協会の事務所の駅前移転は。

A マチオモイ①誘客という観点から、旅行者の力は欠かせないという認識。今後も旅行業

者との連携を図る。②旅行企画および実施は奈良交通に依頼するなど、今後も民間業者の力を生かした現地集合・現地解散の着地型ツアー商品をすすめていく。③移転は考えていない。まちかど観光案内所の取り次ぎの充実や、観光ゾーンには加茂駅で臨時観光案内所を設置し対応する。



除草された藤木川



公明党 柴田 はすみ

Q ⑤計画的に進めている。学校はほぼ完了し、非構造部材も本年完了。

A 市独自の婚姻届の作成を市独自の婚姻届の作成や記念写真のコーナーの設置を。

A 市民部 市制10周年を記念して作成中。

市独自の婚姻届の作成を

Q 予防接種事業の勧奨を国の事業である高齢者の肺炎球菌ワクチンの対象者が、1人でも多く接種できるように再勧奨しては。

A 健康福祉部 個別通知後、11月と2月にホームページ等で広報する。

ごみピット掘削完了

クリーンセンター建設特別委員会

9月8日に委員会を開会し、報告1件を審査。その後に現地調査を実施した。

7月～8月の施設整備工事の取り組み状況は、プラットホーム工区の掘削開始、ごみピット掘削の完了。炉室・蒸気タービン工区のコンクリート打設開始。
ボイラー・タービン溶接安全管理審査を㈱タクマの尼崎工場で実施。

団体のうち、もともと古い審査機関が行った。室長と室長補佐等の3人が同席した。

Q のり面の除草は。
A 夏場は、熱中症の心配や工事車両との調整で十分な除草ができなかった。

主な質疑

Q ごみピットの掘削は完了したのか。
A 完了し、敷均しコンクリートを打設した。

Q 審査機関は。

A また、検査に同席した職員は。

A 全国で登録の5つの

Q ごみピット工区の耐圧盤コンクリートは。
A 収縮が少なく強度の高い低熱ポルトランドセメントを使用。

Q コンクリート打設時のガードマンは。

A 現場入口に2人。また、鹿背山付近の府道にも歩行者等の安全対策として配置する。



掘削完了したごみピット工区

組合議会報告

財源は線下補償金

(加茂笠置組合)

8月26日、定例会開会。
認定1件を審議。

27年度決算は収入2116万円、支出1921万円。収入の主なもの、線下補償金、財政調整基金繰入金。

Q 利子や配当金で、26年度と大きく差があるが。
A 26年は国債が満期となった。定期預金満期日の違いもある。

Q 雑収入の予算はいつも同じ金額だが。
A 明確な金額については精査する。

全員賛成で認定

7月4日に、全員で管理道の点検を行った。

連合長に山崎善也氏

(綾部市長)

(京都地方税機構)

8月6日、定例会開会。
認定1件を審議。

27年度決算は、収入24億1646万円、支出24億1611万円、35万円の黒字。

徴収実績、収納総額99億円、収納率48・9%、未納総額104億円。

賛成多数で認定

市民と議会のつどい(議会報告会)を開催します

11月13日(日)

市内3会場にて、この「議会だより(38号)」をもとに、
第3回定例会の内容をご報告し、市民の皆さんと意見交換を行います。
事前のお申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

開催時間	会場	担当議員
10:00~12:00	市役所北別館 (会議室1)	尾崎・河口・高味・炭本 谷川・谷口・森本 茂・宮嶋
13:30~15:30	加茂文化センター2階 (第1・2研修室)	倉・柴田・島野・長岡 西山・森岡・山本
	アスパアやましろ (視聴覚・研修室)	伊藤・片岡・九社前・酒井 高岡・西岡・森本 隆

問い合わせは議会事務局まで TEL 0774-75-1240 (直通)

平成28年 第4回(12月) 定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会
11月	24日	木	議会運営委員会 (議会招集告示)
12月	1日	木	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等
	2日	金	本会議 (予備日)
	5日	月	総務文教常任委員会
	6日	火	厚生常任委員会
	8日	木	産業建設常任委員会
	9日	金	クリーンセンター建設特別委員会
	12日	月	補正予算特別委員会
	13日	火	本会議 一般質問
	15日	木	本会議 一般質問
	16日	金	本会議 一般質問
	19日	月	本会議 一般質問
	20日	火	議会運営委員会
	21日	水	本会議(閉会) 議案採決等
	22日	木	本会議 (予備日)

- 日程については、変更となる場合があります。
- 本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- 本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- 次回議会日程の他、今までの本会議の模様や会議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

わたしの意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。(220字以内)



一庵 義彦 さん
(山城町神童子)

神社、仏閣に支援を

神童子地域は長い歴史を育んだ多くの文化財がある。ただし、当地域もご多分に漏れず高齢化、過疎化の波に飲み込まれ、心のよりどころでもある文化財を維持管理するにも財政的に耐

えがたい状況に追い込まれている。

例えば神社、防火設備点検費と火災保険の経費に対し、府および市からの補助金は7分の1にも満たないのが実情である。

檀家・氏子各位よりそれなりの維持管理費を徴収して、何とかやりくりしているが、経年劣化による対応(改修)もままならない。いつその事、市に献上しようか・・・

編集後記

今年も残すところあと2カ月となりました。

4月の熊本地震や台風による東北や北海道の水害など、各地で被害がありました。

被害に遭われた皆さんには心からお見舞い申し上げます。

近年、予想もつかない自然災害が起こっています。そこから発生する二次災害を防ぐためにも、議会のチェック機能を十

分に生かしながら行政と連携し、取り組んでまいります。

西山 幸千子

広報編集委員会

委員長	島野 均
委員	山本 和延
委員	森本 隆
委員	高岡 伸行
委員	長岡 一夫
委員	西山 幸千子
委員	森本 孝之
委員	高岡 孝之



石塚 友美 さん
(木津川台)

「認定こども園」開園にあたって

私が住んでいる木津川台は、地域ボランティアの方々が子どもたちの安全安心のために、登下校の見守り活動を積極的に行ってくださっていて、朝から元氣な

挨拶と笑顔が飛び交う素敵な地域です。

来年4月からは、「認定こども園」開園に伴う交通量の急増により、道路環境が変化します。特にこども園前の交差点は、信号機も横断歩道もなく地域住民だけで安全を確保することが困難です。

信号機が設置され、住民やこの地域を訪れる方にとっても安全安心な環境になればと願います。



村城 恵子 さん
(南加茂台)

討論する議会と議員に

毎議会、多くの議案や請願が出されますが、すべて私たちの暮らしに直接関わるものばかりです。

6月議会で、切実な加茂駅の住民請願や意見書が出

されました。結果は出ていましたが、討論がなく、反対理由が分かりませんでした。

全員賛成なら、議案が妥当なのだと理解できますが、そうでないなら、反対の理由を知る権利があります。

議会の憲法と位置付けた「議会基本条例」を制定している議会として、討論し、議員の顔が見える議会運営を望みます。

お知らせ

12月定例会は12月1日(木)からはじまります。詳しい日程は、23ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

0774-75-1240
0774-72-8952
E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp